

令和6年度 福井県立清水特別支援学校 スクールプラン

業務改善のための取組

- ・スクールウェアの活用を充実させ、情報共有や校内の連携、業務の円滑化を図る。
- ・資料の事前配付、会議の持ち方の工夫と議題の精選に努め、時間管理を意識して効率的に運営する。
- ・効率化と改善を図るため、ホームページ、Google formsの活用、家庭への連絡・調査のペーパーレス化等を進め、業務を見直す。

人権教育の推進

- ・研修を通して様々な人権課題を知り、人権尊重の意識を高める。
- ・児童生徒の個性や特性を理解し、自分も他者も大切にすることを指導を推進して、いじめ防止を徹底する。

センター的機能の充実

- ・個に応じたよりよい支援の在り方を共有し、特別支援教育に関する専門性を高める。
- ・校内の専門性を地域支援にいかす。
- ・地域の特別支援教育の状況を把握し、特別支援学級関係者に向けた効果的な研修を行う。

重点目標

1 教育課程・学習支援

個別最適な学びを実現するための授業づくりに取り組む。

2 児童生徒支援

児童生徒が安心安全で健康な学校生活を送るための支援を行う。

児童生徒が個性を發揮し主体的に行動できるような活動内容の充実、柔軟化を図る。

3 進路支援

卒業後の生活や現在の生活に必要な、進路に関する情報や福祉サービスを把握し、情報収集を行い、保護者と共有する。

4 交流及び共同学習

学校間交流・居住地校交流・地域との交流を積極的に行い、インクルーシブ教育の推進を図る。

具体的取組

a 個別最適な学びの在り方や支援の方法を検討しながら授業づくりに取り組む。

目標：丁寧な実態把握から個別最適な学びの在り方や支援方法を検討し、授業改善を行う。
80%以上

具体的取組

a 訓練や研修等を通して、教職員の危機管理に対する意識を高め個々の役割の理解を深めるとともに、児童生徒への防犯防災教育や保護者への理解啓発に努める。

目標：教職員の危機管理における個々の役割を理解する。
80%以上

b 児童生徒の発達段階に応じた保健指導（成長、衛生、性、健診・検査練習など）を行う。

目標：児童生徒の発達段階に応じた保健指導を行い理解を促す。
80%以上

具体的取組

a 学校行事において児童生徒が見通しを持ち、日頃の学習の成果を發表できるように、支援体制や環境の工夫、改善を行う。

目標：一人一人の特性に応じて、児童生徒が主体的に参加できる学校行事を工夫して行う。
80%以上

具体的取組

a 進路支援に関するアンケートや懇談会等から保護者が必要としている進路に関する情報や福祉サービスを把握する。

目標：保護者が必要としている情報を把握する。
80%以上

b 保護者が必要としている進路に関する情報や福祉サービスについて、関係機関等から情報収集し発信する。

目標：関係機関等から進路に関する情報や福祉サービスに関する情報を収集する。
80%以上

具体的取組

a 同世代の児童生徒や地域の人たちとの関わりを通して、本校児童生徒の経験を広め、地域社会の中で生活する力を養う。

目標：交流及び共同学習において、児童生徒が自分らしく活動するために必要な支援を行う。
80%以上

b 本校の交流及び共同学習に関する情報発信や、児童生徒に対する理解啓発を進める。

目標：情報発信を積極的に行いながら、特別支援教育への理解啓発を進める。
80%以上